



高島学園

中学校だより 【第11号】

令和5年10月17日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

25秒の奇跡

2023年の下半期がスタートしました。上半期の生徒たちの成長を実感します。朝のチャイムの25秒間の生徒の様子を参観された方々は、「すごい学校だ」と言われます。

毎朝、ほとんどの教員が教室や廊下で生徒を迎えています。指示はしません。生徒は25秒間のチャイムで、読書を始めます。さすが9年生の朝の姿勢はすごいです。



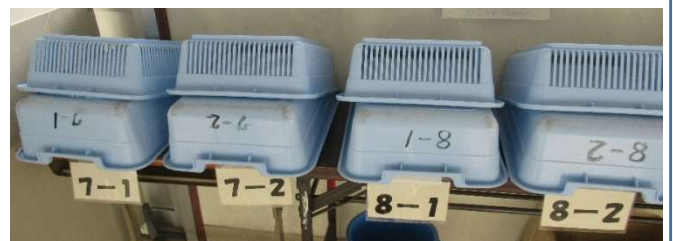
8年生も授業の変化が見られます。難しい問題を解くのに、グループ学習が増えました。「ああそうか!」「なるほど!」という声が出、学び合う姿勢に成長が見られます。その前向きさが部活動につながり、20日(金)の秋季大会に向けて部活動に力が入っています。

7年生は、行動に落ち着きが見られます。入学したときから言葉遣いがしっかりしている生徒が多いのですが、マイシティなど多くの経験を通して対話の力が高まり、気持ちよく人とかわる姿が増えてきました。

下半期は、9年生は「義務教育の終了を迎え、一人ひとりが進路を決定し、自立する」、8年生は「最高学年を前に、学園のリーダーの一人となる」、7年生は、「第2ステージを終え、学園を創る生徒の一人となる」ことを目指して、全力で取り組みます。保護者や地域の皆様、変わらぬ温かい励ましとご支援をよろしくお願いいたします。

ひびき合う学校♪

学校だより No10 で話したのですが、4つのかごを縦に積んで、3階まで運び、それぞれの場所に設置する生徒の姿に、再び出会いました。



直後に、その係になっていた生徒が、設置場所にやってきて、「ああ良かった。助かった。」と言いました。その時には、かごを持ってきた生徒はそこにいませんでした。そのことを伝えると、その生徒は「ありがたい。お礼言わんとあかん。」と言って、教室へ戻って行きました。すごい行動・言動へとつながっています。



修身堂ファームの周囲です。休日に生徒が草を刈ってくれたのです。いつも畑の世話をしてくださる地域の方が、「ほんとにありがたい。」と言いながら、作物を植えてくださいました。

放課後、廊下で「毎日ごろうさん。」という教員の声がありました。ベルマークを数えている生徒の姿がありました。上半期で3600点を超すベルマークが集まりました。

毎日机がきちんと整頓されている教室があります。放課後に教室を整頓している生徒が何人もいます。クラスの特色が出てきました。



高中オリジナル・ブックカバー

毎日、地域の方が朝読書に参加をしてくださるおかげで、落ち着いた読書環境ができ感謝しています。

生徒たちが、いただいた布を使ってブックカバーを作りました。地域の方々に、使っていただきたいという思いです。



「マイ・シティ 高島」地域と一緒に学ぶ

「ふるさと高島のために何ができるか」5、6、7年生が一緒になって考えました。いろんなアイデアを出し合い、それをかなえるために、多くの地域の方と一緒に取り組みました。

「乙女が池映えスポット」ができました。第1号は日野町からのお客様です。「すごいですね。」と、高島学園の取組に感心して帰られました。

引率してくださった方が、タブレットで生徒の活動の様子を撮影してくださっています。

たくさんの地域の方々にお世話になり、貢献する喜びを体感した一日でした。ありがとうございました。



全国学力学習状況調査の結果

授業では、「主体的な学びを育むこと」を目標に、小学校教員と共に取り組んでいます。

先日、高島中学校は、e-ライブラリーの活用率が最も高い学校だと報告を受けました。学校では、e-ライブラリーを使うことを宿題や課題とすることはほぼないので、生徒が自ら取り組みを進めているということがわかりました。まさに目指すところです。

今年の全国学力学習状況調査の結果が出ました。今年は、国語、数学、英語の3教科の調査がありました。本校の正答率は、国語と数学は、全国とほぼ同じで、英語は約2ポイント高いという結果でした。そして、次のような分析とアドバイスがされました。

国語…場面に応じて質問を考えることができるが、自分の思いを表現する問題に練習が必要である。数学…反比例について理解できているが、自然数の意味を再度確認する必要がある。基本的な問題を積み上げ、応用問題へ挑戦すると良い。英語…リスニングで情報を正確に聞き取っているが、考えを簡単な英語で記述する練習が必要である。

この分析から、国語と英語では、「自分の考えをもち、それを表現する力」をつける必要があると考えられます。日頃から、「考えて人に話す」「考えて文で書く」ことを意識すると良いでしょう。グループ学習で進んで友達と会話をし、先生と対話をする、また、生活ノートなどで、日々の思いを書いて伝えることを積み重ねるのは効果的です。自分に合った方法を選び、取り組んでみてください。